

宮城県 登米地域



需要は自らつくるもの

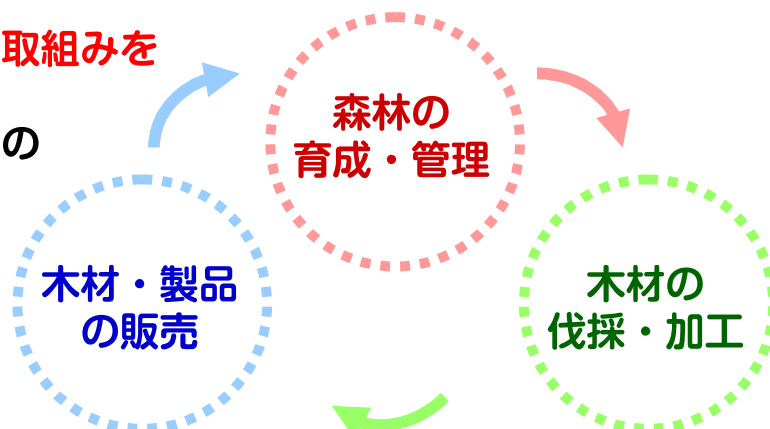
～ 林業成長産業化モデル事業
そして、その先へ ～



登米地域 6つの重点プロジェクト

1. 持続可能な森林資源の育成と**認証材の増産及び安定供給**
 2. 需要に応じた加工精度の高い**認証製材品等の加工流通体制の強化**
 3. 広葉樹材の高次加工による多様な製品の開発
 4. 合板や紙製品等需要に応じた**供給体制の強化**としいたけ
原木活用の再構築
 5. 次世代の林業・木材産業を担う人材の育成
 6. 森林教育・木育等による**森林認証制度の浸透**
- 色：本スライドでの該当事項

森林認証への取組みを
契機とした
林業サイクルの
再構築





森林認証 ～ 木を使うことで森は豊かになる

適正に管理された認証森林から生産される木材等を
生産・流通・加工工程でラベルを付すなどして分別
し、表示管理することにより、消費者の選択的な購
入を通じて持続的な森林経営を支援する仕組み

サプライチェーン



FM認証

森林管理認証

FSCの理念に沿った
森林管理をしていること
(Forest Management)

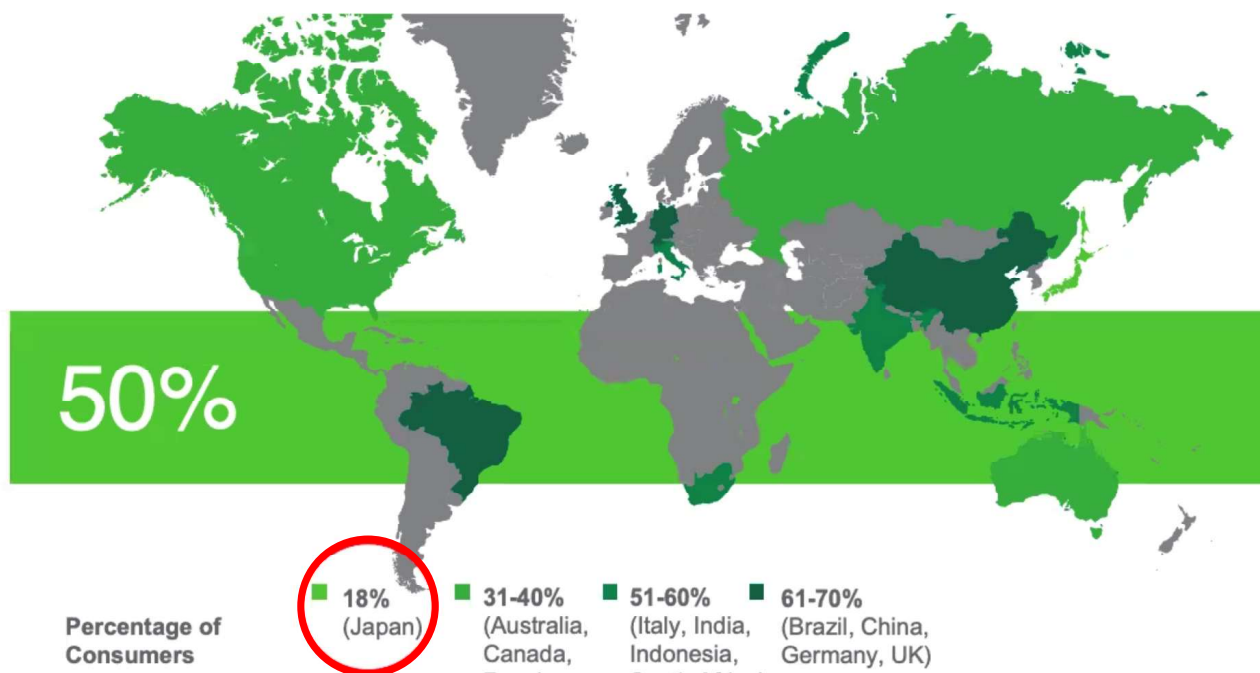
CoC認証

加工・流通過程認証

FSC認証の木材が、そうでない木材と
分別されて加工流通されていること
(Chain of Custody)



世界のFSCマークの認知度 日本は18%



木づくりオンラインサロン, 2022.4.12, FSCジャパン 河野絵美佳 氏





森林認証に取り組む上での課題

▼そもそも森林認証ってなに？

▼誰が主体なのか？

- ・自治体？森林組合？

▼負担が大きい

- ・認証費用の負担
- ・負担割合は？
- ・毎年の審査対応
- ・書類管理が大変



▼メリットがない

- ・認証材、認証製品がまだ普及していない
- ・CoC認証を取得している製材所や工場が少ない
- ・認証材だからといって通常よりも売れるのか？
- ・認証材だからといって単価があがるのか？

「メリットを求めるよりも、「良きツール」として」



山がみえる サプライチェーンマネジメントプラットフォーム

森林認証への取組を契機として森林整備と素材生産を拡大していくには
どのようにしたらよいか？

① 流通の一元管理【仕組みづくり】

- ・森林管理協議会内の2つの事務局（管理と経営）
- ・まとまった量の認証材を安定して届ける態勢整備
- ・計画的な森林施業、安定した価格

② 統合システム【ICT技術の活用】

- ・素材流通の効率化
- ・施業・流通情報の蓄積～活用
- ・トレーサビリティ情報の提供

③ 流通コーディネーター【人】

- ・木材需要を自ら開拓する

「山がみえる」

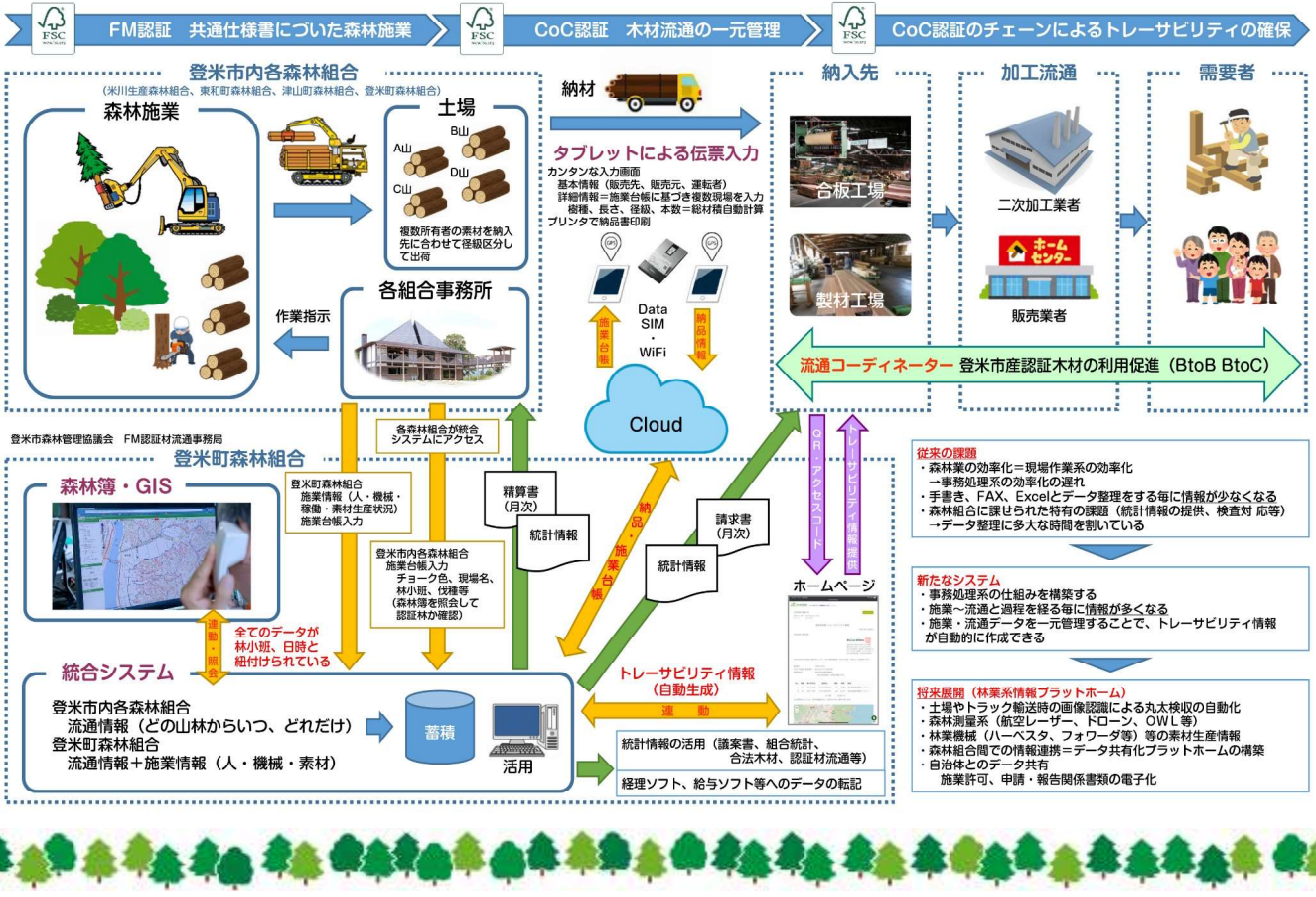


山元が需要者まで積極的に積極的にアプローチしていく姿勢

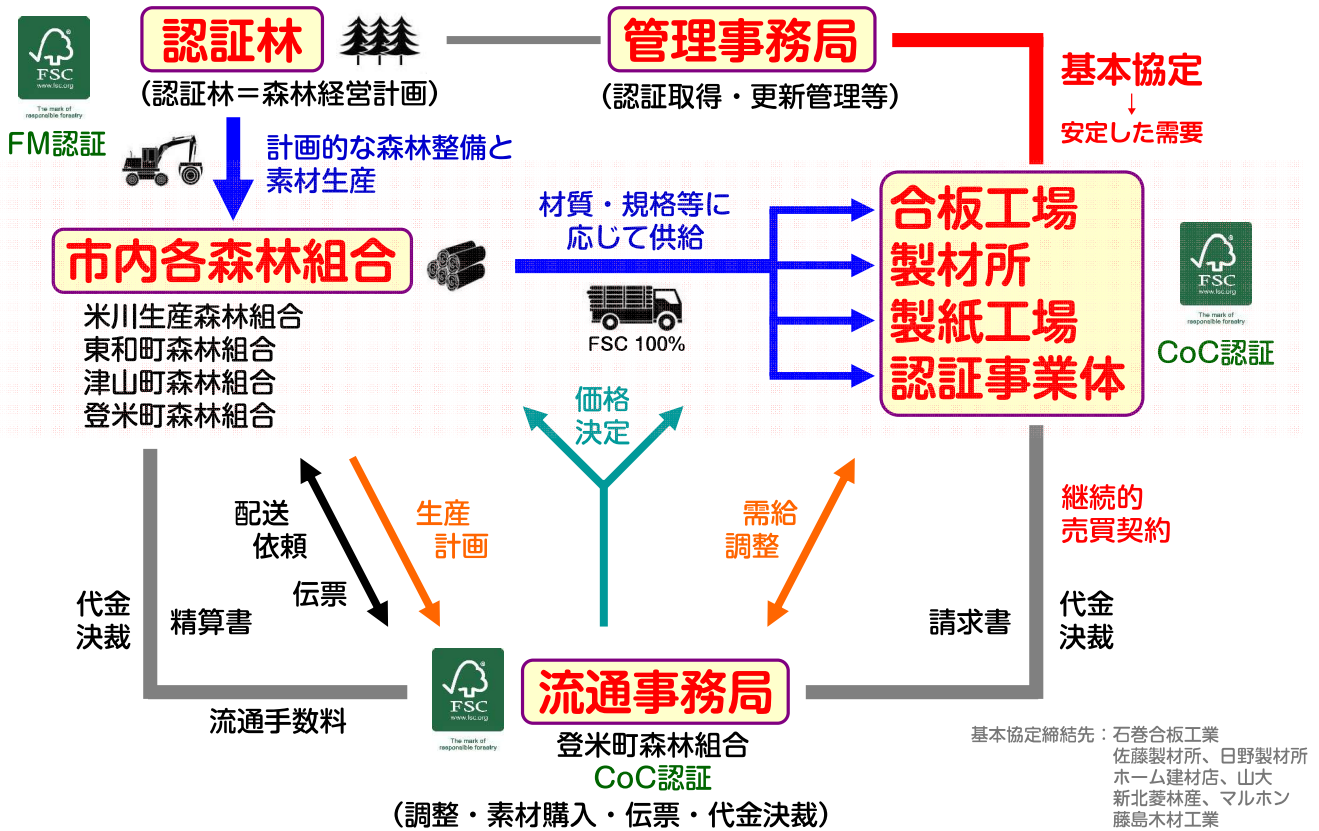




山がみえる サプライチェーンマネジメントプラットフォーム



流通の一元管理





流通の一元管理～石巻合板工業との取引

▼石巻合板工業

くりーん&らいふ 2020年冬号

- ・ CoC認証取得 (2012～13年)

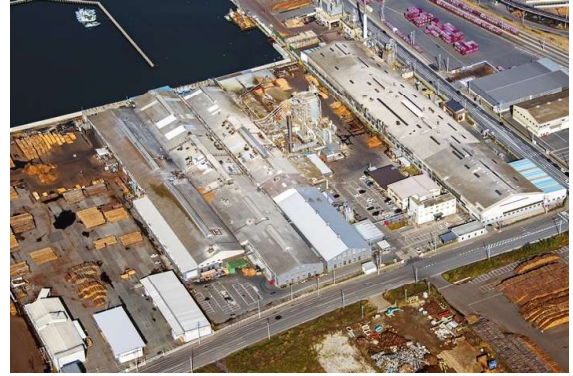
FSC, PEFC, SGEC

国際的に違法伐採の規制が強化される中、いつ森林認証の時代が来ても良いようにとの経営判断

- ・ 認証合板の取扱いも開始
- ・ 国産材使用割合の増加

震災前7割 → 9割以上

- ・ 山から木を伐ってくれるサポーターが森林組合だという意識
- ・ お互いがサポーター
- ・ 直接会って一緒に課題を解決する関係



▼基本協定書

- ・ FSC認証基準に基づいた生産
- ・ 数量計画10,000m³/年
- ・ 四半期毎の納材予定の提示

▼取引の状況

- ・ 11,400m³(R1)、9,700m³(R2)
- ・ 素材全体の約7割

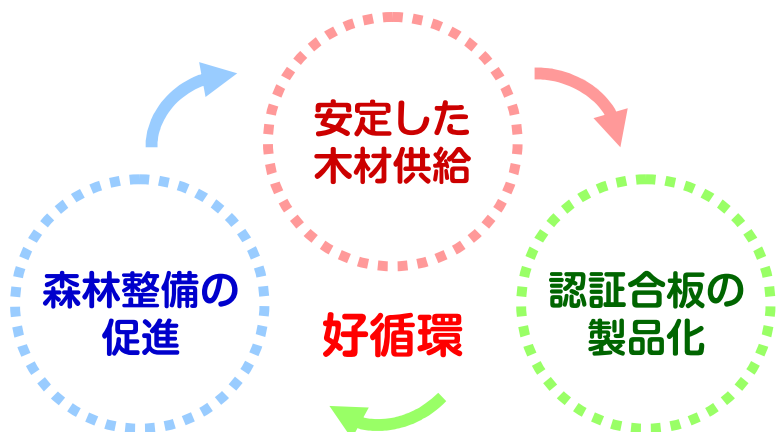
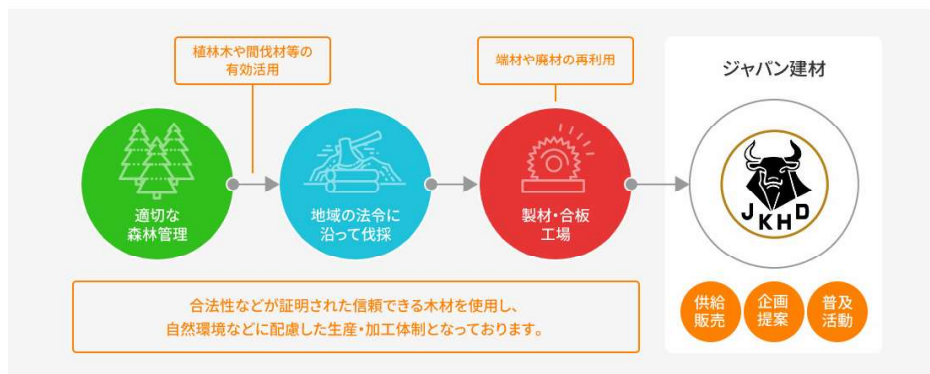
▼継続的売買基本契約書

- ・ 支払い条件等

計画的な森林整備・素材生産が可能になった



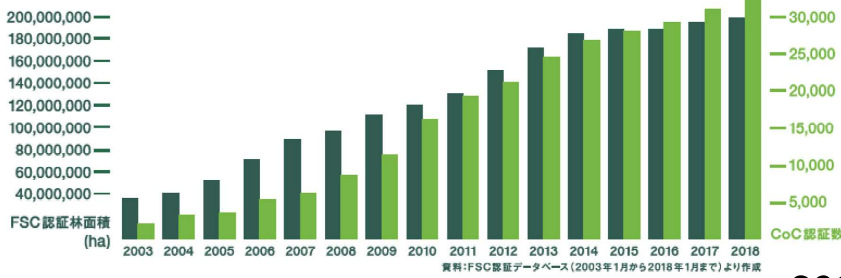
認証合板 ～ 石巻合板工業・ジャパン建材





国内でのCoC認証取得件数の増加

2019年12月現在



世界

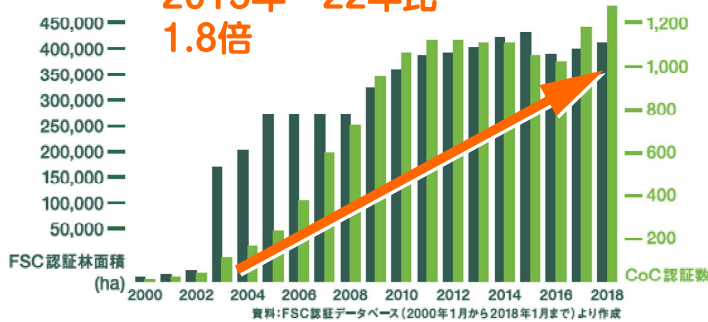
CoC認証

40,332件 (127か国)

FM認証

1668件(約2億 ha,82か国)

CoC認証の増加
2015年～22年比
1.8倍



2022年4月現在

FM認証：230,523,299ha

82カ国

日本

CoC認証：1,500件

FM認証：35件で合計414,184 ha

2022年4月現在

CoC認証：1,800件

FM認証：419,340ha

木づかいオンラインサロン,2022.4.12,FSCジャパン 河野絵美佳 氏



潜在的な認証材の需要にどうこたえるか？

・国内でのCoC認証取得件数の増加：1,800件 (22年4月) 15年比1.8倍

・但し、山元の製材所、木工所はどうか？

・取得をしたものの取扱量がない、CoC維持の手間・費用負担



山元ではCoC認証を継続出来ていない

・肌感覚として、需要は大きい

・探していました ・認証材って手に入るんですね

ミスマッチ



なにが必要か？

・積極的な売り込み (待っていても注文はこない)

・販売ツール (HP、パンフレット、施工事例)

・提案力 (流通コーディネーター)

・使いやすいカタチ (製材寸法、乾燥)

・まとまった量 (出材能力、材庫)



山側の努力
が必要





サプライチェーンを活かした木材供給



JAみやぎ登米本店・なかだ支店新築工事 延べ床面積：2,650m²



JAみやぎ登米本店・なかだ支店新築工事

構造材：約420m³（梁材も無垢材）
羽柄材：約150m³

合板：約7,000枚（認証合板）

丸太換算 A材 約1,200m³

- ・材工分離発注
- ・FSCプロジェクト認証申請



長尺（5m～7.5m）の梁材を約1,200本使用

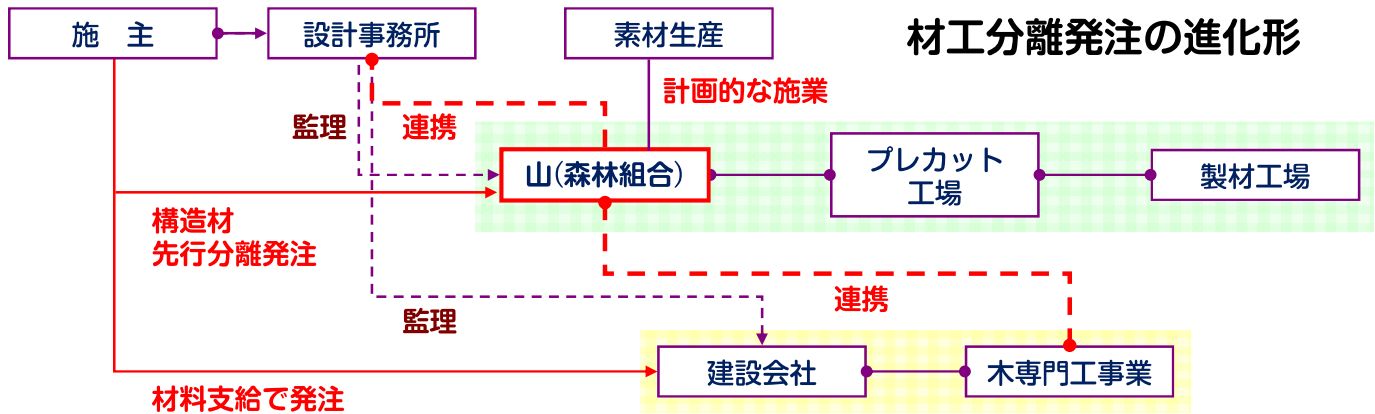


2023年2月竣工予定





山がコアとなり進める新たな取り組み



- ・ 森林組合に建築士を配置 = **ワンチャンネル・サポート**
- ・ 山がコアになり手配実施 = **準備期間の最大化**
- ・ 材の歩留まりを考えた設計、手配が可能
- ・ 特殊材（長尺、大径木）の手配ができ**建築の自由度が向上**
- ・ 無駄の少ない手配
- ・ 地域産材の最大活用 = **山元還元**



課題はなにか？ 何をなすべきか？

Step1

森林認証への取組を契機として
森林整備と素材生産を拡大していくにはどのようにしたらよいか？

手法

流通の一元管理、統合システム、流通コーディネーター

成果

石巻合板工業（B材の安定需要先）、広葉樹の商流拡大

Step2

潜在的な認証材需要にどのように応えていくか？

手法

山がコアになる体制整備 = ワン・チャンネルサポート

成果

材工分離発注の進化形 = JAみやぎ新築工事

Step3

需要に的確に応えられる素材供給体制の構築

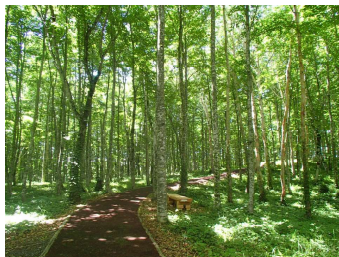
手法

～ 広域協働・協業 ～



その先へ…

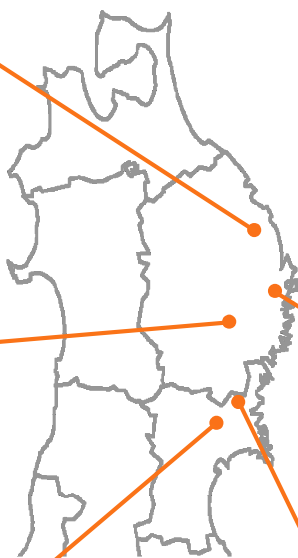
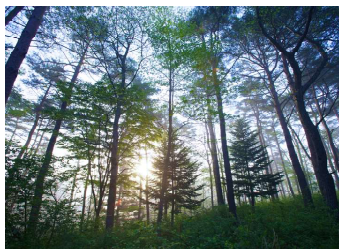
岩泉町



住田町



登米市



5TreesNet

FSC森林認証に取り組む
岩手県、宮城県の
5つの地域で構成する
ネットワーク

大槌町



南三陸町



5TreesNet ~ 県域を越えた協働



POINT 1 森を育てる ~ 世界基準で森林を管理

- ・積極的な交流をとおしてよりよい森づくりを常に研鑽

POINT 2 森を活かす ~ 認証材の供給を協働で

- ・森林は適切に管理すれば決して枯渇しない資源
 - ・FSC森林認証は、森林の抱える問題を解決しながら森林を利用するための仕組み
 - ・FSCのラベルがついた木製品が積極的に使われることで、適切な管理をしている森が増える事になる
- ▼
- ・5TreesNet は合計32,920haの広大な認証森林を有する
 - ・様々な木製品や建築物の需要に対して、お互いのサプライチェーンを活用しながら応じていく

~ 1/31~2/1開催・ウッドコレクションで公表 ~

宮城県 登米地域



需要は自らつくるもの

～ 林業成長産業化モデル事業
そして、その先へ ～

